文字学



発行 H30.7 生涯学習・文化財課 No12

かんじ 漢字」について紹介します。 今回は、 こんかい 「白川 静 博士のエピソード」や「つながる しらかわしずかは かせ



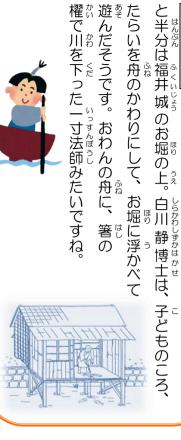
エピソード①

生まれた家の半分は、大名町通りに面し、あった。これにはない、だいみょうまちどお、めん

白川静博士ってどんな人?



遊んだそうです。おわんの舟に、箸の 櫂で川を下った一寸法師みたいですね。か、かり くだい いっすんほうし たらいを舟のかわりにして、お堀に浮かべて



甲骨こうころ

エピソード② 白川静博士は、研究だけされていたイメージしらかりじずかはかせ、 けんきゅう

甲 こうこっ 骨 こっこっ

セイ

クフィギュアスケートで、日本人で初めて金メダルを取った荒している。 がありますが、世間に対する好奇心も旺盛でした。オリンピッ

されていたそうです。 、静香さんの「イナバウアー」を散歩中に真似 たんぽちゅう まね





甲 こうこっ で

チョウ

神に祝詞を唱えて祈り、神の声、神のかない。これでは、いいのないでは、からないでは、からないでは、からないでは、からないでは、からないでは、からないでは、からないでは、からないでは、からないでは、からないでは、 お告げを聞くことができることを



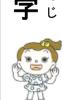
耳とDと壬とを組み合わせた形。現在「王」と書く部分は、 ができる人を「聖」といい、聖職者の意味。のちに、「ひじ 古くは「壬」と書き、人がつま先立ちをしている姿を表す。 祝詞を唱え、つま先立って神に祈り、神のお告げを聞くことのりととなります。 (知識の最も優れた人)」の意味となった。

白らかわれ 静力 『常用字解』 「字訓」 より

「耳」とつながる漢字







モン きこえる

耳と ~ とを組み合わせた形。つま先で立つ人を横からなりと

見た形の上に大きな耳の形を書いて、聞くという耳み、かたち、りえ、おお、みみ、かたち、か 示される神の声を聞く働きがあると考えた。 働きを強調している。古代の人は、耳にはかすかな音ではたら きょうちょう こだい ひと み